



隣縣茨城に舉行される

今秋の陸軍特別大演習で

常磐地方炭一時輸送難におちいる 目下鐵道炭礦側緩和策考中

今秋十一月月中旬から下旬に炭であつてその結果常磐地三分の二を八九月間に送り水戸市を中心として東方の石炭の輸送は約三分の炭増しをなすべく御得意先に行せらるゝ陸軍大演習は近一に減するものと見られてに勸誘を始めてゐる何分金衛、第一、第十四、の三個ある然るに十一月は石炭需誘逼迫の折柄と二三私設師團に東京附近の各特科部隊要最盛期に屬し常磐炭のみ鐵道を除いては隊の

参加に より實際の兵 力では四個師だんに達するの 意供給 不足に 陥るを免れな 断行するに至らないで済む 好材料で石炭の値下げを 二三十萬トンの送炭を見 一般に 漕り勝ちであ

夏井川もカラ／＼に

石城地方の水不足

同日から三四日間を要する 従つて實際輸送日数は其前 後を通じて約一週間である が此の準備の爲め豫め貨車 を集めるの必要あり其上 雲集する見物人を輸送する ため十一月下旬は鐵道の輸 送系統が著しく

亂れる ものと思ふ 尺位になり郡内の各河川も 香水利の便の悪い小名濱、 びごく打撃を蒙るのは常磐 同様減水してゐるので水田 江名、豊間方面は水稲が枯

外する状態になつて居り 邦農會で藤原川に 揚水ポンプで揚水する様そ れ／＼注意をなすつゝある ところが此の連日の炎暑の 結果か最近各方面の水田に メイ虫が発生したので泣き 面に蜂の農家では雨乞ひを したり害虫驅除をしたり此 の暑さに轉手古舞の仕末で あるが此の天候が一週間續 くものとすれば石城郡 大半の 水稲は枯死を 免れず大凶作となるので郡 内の寺院神社等でもそれを 容には別條なかつた

悪疫全郡下を襲ふ

カン天續きの爲めに

死亡者も極めて多い 肺炎、セキリ、腸チフス、疫痢等

自動車衝突

昨夜神谷國道で 九日午後七時四十分頃平町 白土自動車所有乗合自動車 を運轉手猪狩唯雄(二〇)が 運轉し四倉町に向つて石城 郡神谷村大字中神谷地内國 道(保治三三)の三名は金華 山遊覽だん体に加はつて五 走して来た平町尼子自動車 部所有猪狩忠明(二〇)が運 轉して来た自動車とすれち 衝突して金華山に参拜書 九に乗り鹽釜に航行の途中 中毒を起して腹痛おう吐々 催し午後六時上陸の上醫師 の治療を受けた其の他醫師 の治療を受ける程度に至ら ない輕症中毒患者が多數あ つた

大詐欺漢

九日湯本町で 愛知縣愛知郡長久手村生れ 豊間村八幡渡邊義雄(一九) 同馬目シゲヨ(九ツ)の兩名 夏井村大字山崎郡司郎(六) 署に於て行衛を捜索中であ ったが運太郎は内縁の妻が 石城郡湯本町字三函飲食店 の許可を願出たので猪狩 署長はかゞり火の消火方法 益踊りに關する種々の注意 尚ほ猪狩署長は最近自動車 事故の激増に鑑み人出の最 も多い益十五六の兩日は 午後六時から同町本町通り 一帶の自動車通行を禁止す

金華山団体一行

石ノ巻で辨當中毒

鹽釜で醫師の手當を受く 生命には別條ない

平署本通りの

通行禁止

益の十五六の兩日 舊孟蘭盆盆僅か一週日の後 に迫つて平地方は盆氣分が 漸く深ひ始めた益十三日の 夜から平町の宵を彩る盆恒 例の靈迎ひ松かゞり火は隨 所に現出する盆踊りの圓陣 等に就て同町の當番區長 屋町馬目玉彌氏は九日正午 平署に出頭し盆踊、松焚等 の許可を願出たので猪狩 署長はかゞり火の消火方法 益踊りに關する種々の注意 尚ほ猪狩署長は最近自動車 事故の激増に鑑み人出の最 も多い益十五六の兩日は 午後六時から同町本町通り 一帶の自動車通行を禁止す

平町の義捐金

平町では北海道駒ヶ嶽噴火 罹災者救済義援金募集を して詐欺漢を常習としてゐたも のであるが同人は稀代 調べ中であるが同人は稀代 調べ中であるが同人は稀代

俺はほんとうのものを把握 握してゐないのである。 どれが真に握らなければ ならぬものであるのか、 どの仕事への感激も、や がて狐火のたまかしの火 のやうにつまらなく消え て行くのが、これへも打 込んで行けなくなるので ある。

障子の外では、サラ／＼ 粉雪の降る音がする。 庭の竹の葉が、かきこそ と寂しい音色をたてゝゐ る。それがいかにも冬ら しい物音のやうである。 人生と俺とがびつたりと ふれ合ふやうな隙間のな い仕事はないであらうか 藝術、戀、功名、それす ら痛々しくもつまらない まぼろしのそれである。 戀とはなんだ、藝術とは なんだ、誰がどんなに美 しく氣高い説明を加へや うとも、人間が生きてやう としてもがく意慾の人生 になつてはならぬ小道具 位の一ツツしか價せぬものではないからうか、 凡てのもの存在は人間 が生きて行く上の必需で あり、なくてはならぬもの の一ツにすぎない。 考へたり、讀んだとして ゐるうちに日が静かに閉 ぢてゐた。

夜、〇〇君訪問されて家 庭は新しく生き／＼した 色彩に燃える。 冷たく考へながら眠る。

筆洗ふ前に 一九二七年の或る人 の日記を公開する 一月二十一日(金曜) 午前中は陽光が冬ら しい弱々しさをみせ てゐたが、午後から 空は鉛色に變じて粉 雪がサラ／＼と降る 昨夜深更まで起きてゐた ので今朝はぐつぐつと眠 がつて流石に寝坊する。 縁に立ちて空を仰げば弱 々しい陽光は冬らしい。 三輪氏も田中氏も起きて いろ／＼の仕事に没頭す る。告訴状、對策、同志 への差入物、面會、警察 のスパイに關する件、等々を處理する高梨、關家、 荳澤君來る妻の自慢の、 ころろ汁を食べて同志と快 談高笑する三輪、高梨、 田中三氏は入山支部へ、 關家氏は好間支部から小 田支部へと急行する。 同志へ日用品を差入す。 ほんやりと書齋に残つて ゐると、さまざまな影が あつた。短かい一幕物のやうに過ぎて行く人生よ。

投書 歡迎

双葉特信

つかり起床し終へました。朝の散歩中、陸揚げを見ました。たいした魚です。

縣參一行

双葉検査終了
計検査の爲め濱通りに出張中の參事會一行八名は九日双葉郡に入り甲乙の二班に分れて浪江警察並に立双葉中學校の検査を行ふ午後六時より甲乙合同にて富岡町藏屋旅館に開催の官民合同歡迎會に臨み同家に泊翌十日は富岡警察署蠶業取締所久ノ濱支所を視て石城郡に向つた

双葉地方に 達蠶續出

カン天續きの爲に双葉地方に於ける秋蠶状況は早きは三眠に近いものもあるが普通は二眠前後のものが多いと連日の高温の爲め追々達蠶が相當あるべき見込みで尙桑葉は降雨がない爲め枝葉の伸長頗る悪しく桑不足を來すであらう

平第一通信

八月八日(晴)
疲れが來たのでせう。今朝はあまりよい成績とは言へませんが五時半には

校長先生のお土産にいたゞいたおやつをおいしく頂戴しました。今夜は談話會があるのだから皆がその材料に苦心をしてゐる様です
(第三信終り)

西洋料理 丸昇軒
電話四三九番
有聲座の割引券あり
白銀町 丸山貨業店

大内行燈 ギフ提灯

丸形變り形種々取揃へました
此の際特に破格で御願ひ致します故お誘ひの上お買上げ願ひます
平町三丁目
仙臺屋提灯店

美術造花 葬儀用達 山光堂 葬儀社

常磐線平町四丁目花信
盆位牌賣出し
佛具品一切勉強致します
電話五五〇番

中元特賣

- 豆茶舞臺 八十五錢より
 - 丸菓子器 五十五錢より
 - 長手盆 六十錢より
 - 特製汁碗 五個人 六十七錢より
 - 富貴塗丸盆 四十八錢より
- その他種々御贈答品として向く品がございます
いづれも体裁よく水引掛けて差上げます
何卒御引物品にもお使い下さい
平町一丁目
和久井屋漆器店
電話四〇五番

安全第一

諸債券公債類ノ御用ハ是非迅速簡易ヲモツトトスル弊店ヲ精々御利用下サイ
營業 勸業債券兩替
復興債券金融
公債其他
質物一般取扱
平町大工町 多田井商店

イストとテーブルの御用命は 本箱とツクエ

丸ほん家具店
營業所 平町三丁目 電話五三九番
製造所 平町新田前 電話七二三番

御知

當院ハ從來マデ四軒町自宅ニ於テ營業致シテ居リマシタガ此度營業擴張ノ爲メ驛前マルカ書店跡ニ移轉致シマシタカラ御得意様各位ニ暑中御伺ヒ旁々御報セ致シマス
平驛前(マルカ書店跡)
水野化粧院
電話(自宅)五二五番
(營業所)呼五九六番

夏帽子とワイシャツ

玉屋洋品店
平町田町通り 電話六五六番

荆妻キクノ儀新盆に相當仕候へ共時節柄提灯其他の供物一切固く御辭退申上候
平町白銀町
つたや旅館 柏木勝利

益 提灯

御新盆の御供養は
御戒名 入提灯に限る
安く良く 御注文に應じます
スガノヤ提灯店
電話七一二
岐阜提灯を陳列致しました

ガマ印ハイ取り紙

命が危い悪疫を媒介する
ハイを取りましょう
ベスト セキリ、チフス コレラ菌をちらす
皆様とおなじみのガマ印ハイ取り紙
が一年よくとれます
今年も大懸賞附で賣出しました。皆様奮つて澤山御使用を願ひます
ガマ印ハイ取り紙地方卸小賣部 阿康薬店
電話四四番
良品蠶取り紙宣傳の爲めお望みの方に無代進呈致しますかご遠慮なくお申込下さい

外科一般 (入院隨意)

内臓外科専門
花柳病科
平町六丁目(橋際)
木村科外醫院
電話三〇九番